

様式第 9

平成 28 年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
呉地域	呉市	H21. 4. 1～H27. 3. 31	H21年度～H26年度

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成19年度)	目標 (割合※1) (平成27年度) A	実績 (割合※1) (平成27年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	36,307 t	35,269 t (-2.9%)	24,982t (-31.2%)	70.8%
	1 事業所当たりの排出量	3.19 t	3.66 t (14.7%)	2.42t (-24.1%)	66.1%
	家庭系 総排出量	60,823 t	51,217 t (-15.8%)	52,803t (-13.2%)	103.1%
	1 人当たりの排出量	159 kg/人	126 kg/人 (-20.8%)	169 kg/人 (6.3%)	134.1%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	97,130 t	86,486 t (-11.0%)	77,785t (-19.9%)	89.9%	
再生利用量	直接資源化量	- t (- %)	- t (- %)	10t (0.0%)	- %
	総資源化量	21,039 t (21.7%)	21,181 t (24.5%)	13,480t (17.3%)	63.6%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	約32,552MWh	約27,000MWh	約28,484MWh	105.5%
減量化量	中間処理による減量化量	73,369 t (75.6%)	62,909 t (72.7%)	60,566t (77.9%)	96.3%
最終処分量	埋立最終処分量	9,590 t (9.9%)	9,291 t (10.7%)	8,609t (11.1%)	92.7%

※1 排出量は現状に対する割合, その他の指標は排出量に対する割合

2 各施策の実施状況

施策種別	事業 番号	施策の名称等	実施 主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制, 再 使用の推進に 関するもの	11	有料化	呉市	家庭ごみについて, 指定袋制度 (ごみの有料化) を継続して実施し, ごみ減量の動機づけをする。	H21年度 ～H26年度	市全域で指定袋制度及びごみ出しルールを統一した。 H22年4月から, 衣類品等の拠点回収を開始し, H23年6月から, 家庭持ち込みごみを有料化した。

	12	環境教育・普及啓発・助成	呉市	<p>ごみの減量等について啓発を行う「出前環境講座」、ごみ処理施設見学等により環境教育の充実を図る。</p> <p>資源集団回収に対し助成することにより、リサイクルの推進を図る。</p>	H21年度～H26年度	<p>「出前環境講座」、「出前トーク」、ごみ処理施設の見学、小中学生へのポスター募集表彰及び美化推進員表彰等を実施している。</p> <p>「くれ環境市民の会」と連携し、環境イベント「エコフェスタ」を毎年継続して実施している。</p> <p>資源集団回収により、資源物を年間約5,000 t回収している。</p>
	13	マイバック運動・レジ袋対策	呉市	<p>市民団体、事業者、市が協働し、マイバック持参運動を展開する。</p> <p>その後、三者協定によるレジ袋の有料化を実施する。</p>	H21年度～H26年度	<p>H21年6月から、市内のスーパーマーケット等でレジ袋の有料化を開始している。</p>
	14	溶融スラグの有効利用	呉市	<p>「クリーンセンターくれ」から生成される溶融スラグについて、土木資材等に有効利用するため「呉市溶融スラグ活用検討委員会」を立ち上げて、実用化を目指す。</p>	H21年度～H26年度	<p>検討委員会等で、主にコンクリート構造物の部材としての使用について、研究・検討を行い、国施工の公共工事で試験的に使用した。</p> <p>H26年度からは、使用に当たって規制の少ない方法（埋戻材等）で、市施工の公共工事で使用すべく、庁内組織を立ち上げ検討をしている。</p>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	事業系一般廃棄物の処理体制	呉市	<p>ごみの減量及び適正処理を推進するため、市のごみ処理施設への受入可能品目の明確化を図り、周知や広報に努める。</p>	H21年度～H26年度	<p>H23年6月から、産業廃棄物の受入を廃止し、搬入業者へチラシを配付するとともに、展開検査を実施している。</p> <p>H26年度に、市内事業者の廃棄物処理状況を把握するため、アンケート調査を行い、データの検証を実施している。</p>
処理施設の整備に関するもの	1	最終処分場整備	呉市	<p>新たな最終処分場を整備する。</p>	H23年度～H26年度	<p>H27年3月末に竣工（同年4月から供用開始）</p>

施設整備に係る計画支援に関するもの	31	地形測量・地質調査	呉市	最終処分場の整備に先立ち、地形測量・地質調査を行う。	H21年度～H22年度	H21年7月からH22年12月まで実施した。
		生活環境影響調査	呉市	最終処分場の整備に先立ち、生活環境影響調査を行う。	H21年度～H22年度	H21年6月からH22年12月まで実施した。
		PFI導入可能性調査等	呉市	最終処分場の整備に先立ち、PFI導入可能性調査等を行う。	H21年度～H22年度	PFI導入可能性調査をH21年8月からH23年1月まで、DBO事業手法アドバイザリーをH21年10月からH23年3月まで、設計・建設モニタリングをH23年4月からH27年3月まで実施した。
		設計	呉市	最終処分場の整備に先立ち、設計業務を行う。	H23年度～H24年度	H23年7月からH24年3月まで実施した。
その他	41	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	呉市	法に基づく適正な回収、再商品化が行われるよう、普及啓発を行う。	H21年度～H26年度	家電リサイクル法について、市のホームページで情報提供している。 小型家電は、H24年度から拠点回収（H24～H26年度回収量：約17t）し、認定業者へ引き渡している。
	42	不法投棄対策	呉市	普及啓発による適正排出の徹底と、監視パトロール等を継続して行う。	H21年度～H26年度	監視パトロール、調査、回収及び警察への通報等を実施している。
	43	災害時対策	呉市	災害時に発生する廃棄物は、迅速かつ適切に処理する。 また、各種団体と協力し応援協定体制を整備する。	H21年度～H26年度	地域防災計画事務分掌を見直すとともに、先進施設の視察及び災害廃棄物仮置場候補地を集約している。
	44	進捗状況調査及び事後評価	呉市	本計画の進捗状況及び事後評価を行う。	H21年度～H26年度	H23年6月に、最終処分場の整備期間を「H24年度から」を「H23年度から」に変更した。 H28年5月に、事後評価を実施した。

3 目標の達成状況に関する評価

ごみの減量については、各種施策を取り組んできていることにより、全般的に一定の成果が出ているものとする。
なお、各指標の評価については、次のとおりとする。

【排出量】

家庭系総排出量及び家庭系の1人当たりの排出量は、再生利用量が目標を下回ったため、目標に及ばなかったが、事業系を含めた総排出量は、目標を達成することができた。

これは、家庭ごみ持ち込みの有料化及び産業廃棄物の受入廃止に加え、減量化及び適正処理の取組効果や、人口減少等の社会情勢の影響が要因とする。

【再生利用量】

総資源化量が目標を達成することができなかったのは、ごみの総排出量が減少したことに伴い、資源物の総排出量が減少したことによるもの、また、近年、スーパーマーケット等が資源回収機を設置するなど、資源化量を把握できない回収形態が現れてきたことが、影響しているものとする。

今後、行政・拠点回収の実施及び資源集団回収の促進を継続するとともに、民間ルートによる資源化の実態把握方法等について検討していきたい。

【熱回収量】

排出量が減少したにもかかわらず、目標を達成することができたのは、効率よく焼却運転ができたことによるものとする。

【減量化量】

排出量の減少により未達成であるが、減量化率については、5.2%上回っており、達成できたものとする。

【最終処分量】

目標を達成することができたが、排出量中に占める割合は増加しており、更なるごみの減量に係る施策を取り組み、新しく整備した最終処分場の延命を図らなければならないとする。

(都道府県知事の所見)

(ごみ処理)

ごみの総排出量は、平成19年度実績に比べ、19.9%の減量化となり目標を達成している。特に事業系ごみについては、平成23年6月からの産業廃棄物受け入れの廃止やごみ搬入業者への継続的な啓発等により、大きな成果を挙げていると評価できる。

総資源化量については目標を達成できなかったが、総排出量の減少やスーパー等の拠点回収の住民による利用拡大等によるものと考えられる。今後は、民間ルートによる資源化の実態把握方法の検討などを行うとともに、引き続き、資源集団回収の促進等、継続した施策により、再生利用量の向上が期待される。

最終処分量は、排出量の減少等により、目標を達成している。併せて、処理減量化への取組み（減量化率 77.9%）の効果もあり、最終処分量の減少につながっていると評価できる。

今後も引き続き、ごみ減量化に関する各施策の実施、市民への広報等により、3Rの更なる推進に努めていただきたい。